

アパグループ

広島市内7棟目のホテル開発用地を取得

アパホテルネットワークとして全国最大の1,153ホテル148,590室（建築・設計中、海外、アパ直参画ホテルを含む）を展開する総合都市開発のアパグループ（本社：東京都港区赤坂3-2-3 CEO：元谷 一志）は、広島市内に7棟目となるホテル開発用地を取得した。

本案件は広島電鉄本線「八丁堀駅」より徒歩6分、大型商業施設が並ぶ「中央通り」沿いに位置し、中四国最大の歓楽街である流川エリアにも隣接することから、ビジネス需要に加え、レジャー需要も期待する。

本計画は、ホテル名を「アパホテル〈広島八丁堀駅南〉」とし、計画客室数は218室を予定しており、2028年秋の開業を目指す。概要は下記の通り。

【用地概要】

所在	地番	開発面積	権利の種類
広島市中区新天地	6番3、5	456.71㎡	所有権

【計画概要】

ホテル名（仮称）	規模	延床面積	客室数
アパホテル〈広島八丁堀駅南〉	15階建	約3,834㎡	218室

広島市内においては、現在運営中であるアパホテル〈広島駅前大橋〉（全727室）、アパホテル〈広島駅前新幹線口〉（全294室）、アパホテル〈広島駅前スタジアム口〉（全242室）に加え、現在、アパホテル〈広島駅前〉（全251室）、アパホテル〈広島駅前通〉（全316室）、アパホテル&リゾート〈広島駅前タワー〉（全600室）の新築工事が進められており、既存ホテルと併せて合計7棟目の開発用地取得となる。総客室数は2,648室と広島県内でトップとなる。

今後も、全国的に需要が見込めるエリアにおいては、ホテル運営・人員効率の向上を踏まえたドミナント戦略を積極的に実行しながら、アパホテルネットワークの拡充を強化していく。

【広島市内のアパホテル（計画含む）】

ホテル名	住所・地番	客室数	開業日（予定日）
アパホテル〈広島駅前大橋〉	南区京橋町2-26	727室	2016年10月6日
アパホテル〈広島駅前新幹線口〉	東区上大須賀町2-29	294室	2024年7月26日
アパホテル〈広島駅前スタジアム口〉	南区荒神町1-4	242室	2024年10月1日
アパホテル〈広島駅前通〉	南区的場町1-2他（地番）	316室	2027年11月開業予定
アパホテル〈広島駅前〉	南区松原町10-11（地番）	251室	2027年12月開業予定
アパホテル&リゾート〈広島駅前タワー〉	南区松原町679-11（地番）	600室	2028年3月開業予定
アパホテル〈広島八丁堀駅南〉	中区新天地6-3他（地番）	218室	2028年秋開業予定

【アパグループ】

2022年4月より始動した5ヶ年計画「AIM5～APA Innovative Movement」の目標について前倒して達成の目途が立ったことを受け、2026年4月に新中期5ヶ年計画「AIM5-II」を始動。2031年3月末までに国内自社ブランド単独10万室を目標とするほか、ホテル分野におけるプラットフォーム事業やマルチ・ブランド化、海外事業に関しては北米事業の強化および次期戦略エリアの模索を推進する。

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 社長室

住所：東京都港区赤坂3-2-6

電話：03-5570-2131

E-Mail：kouhou@apa.co.jp URL：www.apa.co.jp